



全面リニューアルした中井英策商店 HP のトップページ

# HPを全面リニューアル

不定期刊

# きんきん新聞

「きんきん新聞」第4号  
2010年(平成22年)11月15日発行  
発行:(株)中井英策商店  
☎(0142)24-2934  
メルアド kinki@poppy.ocn.ne.jp

## 「きんきん」の歴史を振り返る

### キンキのいずし生誕三十周年アピールへ

インターネットで「いずしの世界」が勉強できる!?

中井英策商店は、このほどインターネットホームページの全面リニューアルを行った。

一新したホームページの目玉は、同社の主力商品であるいずしの歴史や文化などを学べる「いずしミュージアム」を開設したことで、これは日本のすし研究の第一人者で知られる名古屋経

済大学教授の日比野光敏氏の全面協力を得て、いずしの原型が生まれた東南アジアから中国、朝鮮半島、そして日本に伝来する流れやその背景などを詳しく分析、現在のいずしが生まれる歴

史を紹介しているもので、日本に伝来してからも石川県のかぶらずしや秋田県のハタハタずしなどの流れを経て北海道に伝わり、独自の発達を遂げた背景などを詳しく解説している。「いずし」の歴史をこれだけまとめたのは、全国的にも極めて珍しいのではないかと。当社としても非常に勉強になったし、いずし文化を広めるきっかけにしたい」と及

### 新アドレスは

<http://nakai-shop.com>

川社長。  
なお、この他にも中井商店の各種いずし商品の紹介や、社長ブログ、物産展スケジュール、販売店情報など盛り沢山の内容で、メールでの問い合わせも出来る。アドレスは nakai-shop.com「中井英策商店」でも検索できる。

の、発売からおよそ三ヶ月で四千個を販売、この秋からは急ぎよ増産体制を整え、初年度売上見込みを一万五千個へ当初の四倍弱に大幅修正した。

これについて製造元の中井英策商店及川社長は「これまでどこにも存在しない独自の商品だけに、どこまで受け入れられるのか?不安だったが、正直こまめで人気商品となるとは全くの想定外」と驚く。また、ホタテ供給元の北海スキャロップ丹田社長も「原料ホタテ供給のために急ぎよ体制を見直した。有り難いこと」と嬉しい悲鳴だ。

年末年始にかけて、いずしの最需期を迎えるだけに「欠品だけは何としても避けたい」と(及川社長)との思いから、中井商店では、十二月上旬までスタッフ増員で任込みに当たる。

なお、今年は昨年から要望の強かった年末お歳暮向けのギフト商品の品揃えを新たに行い、「炙りホタテのいずし・八五〇gギフト箱」を新発売、数量限定ながら地元道の駅と中井商店通販の限定販売を行うことになっている。



## 年間販売一万五千個ペースへ

### 予想を超えるギフト商品に

「炙りホタテいずし」年間一万五千個生産ペースへ。  
当社が昨年十一月から発売した新製品「炙りホタテいずし」の生産がここに来て急ぎよ増産体制に入った。この商品は、北海道養殖ホタテ発祥の地として知られる胆振管内豊浦町とタイアップで共同開発したもので、豊浦町のホタテ漁業会

社(有)北海スキャロップ(丹田美智夫社長)から原料ホタテの供給を受けて当社が製品化し、昨年末から豊浦町限定で販売している。発売当初は、原料ホタテの供給体制が整っていないこともあって、初年度販売見込みは、年間四千個ほどとしていたが、発売当初から欠品状態が続いたもの



年末限定販売の「炙りホタテいずし」八五〇gギフト

## 私が作ってます!!



(株)中井英策商店 生産部 高橋知里さん

当社に勤務して今年で6年目の高橋知里さんです。家庭では二人の元気な男の子と、優しいご主人に囲まれた主婦。「今年も心を込めて美味しいいずしを作っています」と高橋さん。

「キンキのいずし」でお馴染みの(株)中井英策商店の近況や、新商品情報などをお伝えする「きんきん新聞」が創刊しました!!この新聞は、中井英策商店、「キンキのいずし」などを愛して下さるお客様全ての方々への情報発信の為の新聞です。

どうか、見てやって下さい!笑ってやって下さい!!

(株)中井英策商店 きんきん新聞編集室

